

那覇市大道のメディカルプラザ大道中央病院に7月1日、脳神経内科外来が新たに開設しました。
今回は担当の神経内科専門医である小嶺幸弘先生に、外来の概要などについて伺いました。

―綿密な問診、診察、検査を通して病気を診断し、適切な治療に入ることですね。

小嶺 病名がはつきりすればそれに合わせた薬を処方しますし、はつきりした病名を断定することができなくても、症状に合わせた対症療法による治療を行います。

整形外科と連携して脳神経系の疾患を治療

―パーキンソン病についてお聞かせいただけますか。

小嶺 厚生労働省が発表した令和4年の国民生活基礎調査によると、パーキンソン病患者は全国で約28・8万人いるとされています。加齢とともに発症リスクが高まる病気ですから、この病気とどう向き合うのかは今後の大きな社会的課題だといえます。

―病気の原因は何でしょうか。

小嶺 パーキンソン病は脳内の神経伝達物質であるドーパミンの減少によつて引き起こされる神経変性疾患ですが、その根本原因はまだ分かっていません。大脳の中心部にある基底核の中に黒質という神経核がありますが、その中でドーパミンを生成するドーパミンニューロンという神経細胞が、αシヌクレインというタンパクの増加



医療を通して、地域の方々が楽しい人生を送れることを目指します。

メディカルプラザ大道中央病院
脳神経内科外来
小嶺 幸弘（こみね ゆきひろ）

さまざまな症状に対応する脳神経内科外来

―まずは脳神経内科外来の診療体制についてご説明ください。

小嶺 診療日は月・火・水・金曜で、診療時間は午前が9時から12時、午後が13時半から15時までとなっています。ただし連携している整形外科外来は土・日を除く午前9時から12時、午後13時半から17時半まで診療していますので、私の不在時でも関連するリハビリテーションを受けられるように体制を整えています。

―小嶺先生は神経内科専門医ですが、どのような症状を訴える患者さんが対象になりますか。

小嶺 まず感覚異常でいうと、ものに触れた時や人に触られた時の感覚がにぶいとか逆に痛い、めまい、偏頭痛、認知症などの症状が挙げられます。感覚というのは体の中に入ってくるものですが、出力に当たる運動機能の障害であれば、動作がにぶい、脱力、手が震えるなど無意識に筋肉が動いてしまう不随意運動などが挙げられます。パーキンソン病はその代表的なものです。また意識障害やてんかん、もの忘れなどのさまざまな症状も対象としています。

徹底した問診、診察を経て必要な精密検査を実施

―診断までの手順についてお話しいただけますか。

小嶺 まずは問診です。どのような状況で症状が出始めたのかを確認することで、ある程度の病気の種類を絞り込むことができます。次により詳しく症状について知るために、神経系の異常を発見するためのスクリーニング神経診察を行います。これは患者さんの症状や病歴に基づいて神経系の機能が正常かどうかを判断するもので、診察には経験豊富な医師でも30分ほどかかります。患者さんの訴えの種類にかかわらず神経の機能全体を見るもので、感覚器などから神経系に情報が伝わる「入力」、情報を処理する「中枢」、中枢から指令を受けて筋肉や臓器に伝える「出力」まで、すべての神経機能を確認できます。この診察を行うことで本人も普段気づかないような体の異常、例えば手の細かい震えや手足の動きが硬いなどの症状が分かります。そういういくつかのマイナーな所見を組み合わせ、問診と併せることで、より正確な診断が絞り込めるということです。

善効果を高めることが期待できます。私たちは病院の施設内で理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が、医師の処方箋にしたがって適切なリハビリを行っています。リハビリの進捗状況に応じて励ましてくれたり褒めてくれたりしますので、患者さんのモチベーションも上がっていると感じています。

最善の医療を提供し、地域に貢献する

―神経内科の治療を通して、患者さんや地域にどのような貢献ができるものと考えますか。

小嶺 私たちは薬物療法やリハビリテーションを通して患者さんの症状緩和に努めています。それが生活の質を上げることはもちろん、健康寿命を延ばすことにもつながっています。これはとても大切なことで、医療人や患者さんとその家族に限らず、すべての国民の願いであり課題でもあります。私たち医療人が最善な医療を提供することが、国家的に見れば医療費の削減になりますし、地域の方々が楽しい人生を送ることにつながります。それを目指していくということです。

―本日はありがとうございました。



医療法人 陽心会グループ

医療法人 陽心会 社会福祉法人 陽風会 有限会社 ヘルスサポート

理事長 高良 健

グループホーム 大道が丘
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0036
小規模多機能型ホーム 大道
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0018

地域交流センター 大道
那覇市字大道94-3 2F TEL.098-885-0018

那覇市地域包括支援センター 若狭
那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165

ケアハウス 常夏の島
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036

特別養護老人ホーム 前島
那覇市前島2-18-17 TEL.098-894-8039

那覇市若狭老人福祉センター
那覇市若狭末吉町2-14 TEL.098-886-3510

那覇市謝川老人福祉センター
那覇市謝川2-3-11 TEL.098-853-1139

那覇市辻老人福祉の家
那覇市辻2-14-1 TEL.098-864-0580

那覇市地域包括支援センター 新町心
那覇市銘苅1-6-15 TEL.098-941-2252

福祉用具貸与・販売事業所
那覇市字大道128 TEL.098-885-0100

有料老人ホーム 健康の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070

有料老人ホーム 松風邸
那覇市辻2-10-14 TEL.098-869-8557

ヒルズガーデン・那覇
那覇市字松川120-1 TEL.098-885-0300

有料老人ホーム 大道中央
那覇市字大道127 TEL.098-886-0061

有料老人ホーム ヒルズガーデン・アネックス
那覇市松川2 0 番5 TEL.098-975-5275

デイサービスセンター 松川
那覇市字松川120-1 TEL.098-885-0300

デイサービスセンター 大道
那覇市松川2 0 番5 TEL.098-886-0066

デイサービスセンター こすもす
那覇市松川2 0 番5 TEL.098-975-5273

グループホーム 若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551

小規模多機能型ホーム 若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

地域交流センター 若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

那覇市地域包括支援センター かなぐすく
那覇市読房町1 番68号 1F TEL.098-852-0777

在宅総合ケアセンター 大道
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030

在宅総合ケアセンター 大道 / 訪問介護事業所
那覇市字大道1 2 8 TEL.098-885-0033

有料老人ホーム 敬忠
那覇市牧志2-9-43 TEL.098-862-1331

有料老人ホーム きらら
那覇市安里3-1-47 5F・6F TEL.098-923-5707

デイサービスセンター リバースサイド
那覇市安里1-1-18 3F TEL.098-862-1501 2F TEL.098-943-2016

居宅介護支援事業所 なまぐさ
那覇市泊2-25-2 TEL.098-943-5565

介護用品
那覇市字大道116 TEL.098-917-0916

―問診とスクリーニング神経診察を通して、病気の種類がかなり細かいところまで判断できるということです。

小嶺 そうです。ただし、検査も重要ですから、MRI検査を実施することもあります。MRIを通して先ほどお話ししたパーキンソン病や似たような症状が現れるパーキンソン症候群、脳卒中、動脈硬化などが確認できます。MRIは整形外科や脳外科の対象疾患も分かります。また末梢神経に特化した、筋電計を使用する神経伝導検査を行うこともあります。これは神経内科医が主に行う検査ですが、例えば「手に力が入らない」と患者さんが訴える時に脳卒中を想定してMRI検査をしたもの、どうも疑わしいというケースがあります。その場合に「念のために末梢神経まで調べてみましょう」とお話しして検査を行うわけです。他にも想定される症状に応じた血液検査や、パーキンソン病の診断を下す際に類似の病気を除外するための採血検査を行うこともあります。このように、神経内科医として徹底した問診や診察を行った上で、必要と判断されれば今お話ししたような検査も行っています。